

【SDGs未来都市】の選定について

令和5年5月22日、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、優れた取組を提案する都市として、「SDGs 未来都市」に選定されました。

今後、この提案書(別添資料参照)を基に「経済・社会・環境」の三側面の取組を総合的に進め、社会課題の解決を新たな成長の源泉とし、持続可能な経済社会の実現に繋げていきます。

【SDGs 未来都市】

SDGs の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値の創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるもの

【令和5年度の選定状況】

◇28 自治体選定（うち京都府内 本市のみ）

※京都府内の選定都市

舞鶴市（R元）、亀岡市（R2）、京都市、京丹後市（R3）

※平成30年度から令和5年度までに182自治体が未来都市に選定

◇宮津市の提案 ⇒（別添資料参照）

<提案全体のタイトル>

日本三景天橋立のあるまち宮津の未来につなぐチャレンジ

～SDGsな観光地づくり、若者から選ばれるまちづくり、資源循環の促進～

<全体計画の概要>

人口減少・少子高齢化→地域経済縮小・雇用の減少→若年層の都市部流出→人口減少…の負のスパイラルからの脱却に向け、世界から選ばれるSDGsな観光地づくりや観光を核とした地域経済の好循環の創出、若者に選ばれるまちづくりプロジェクトによる若者の移住定住の促進や関係人口の拡大、資源循環の促進により、持続可能で魅力あるまちづくりを展開する。

◇今後の予定

SDGs 未来都市計画(3箇年計画)の策定⇒事業実施⇒進捗評価⇒時点修正

令和5年8月 SDGs 未来都市計画(3箇年計画)を策定（計画期間R5～R7年度）

翌年度8月頃 国が設置する「自治体SDGs推進評価・調査検討会」により進捗評価

※3年間毎年実施。